5 直江津地域の現状

滞在する場所の現状(直江津地域)



○ 主な歴史文化資源

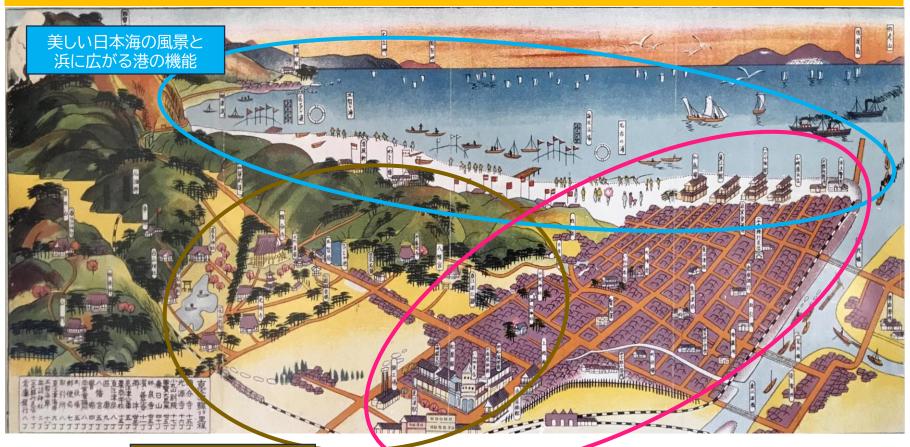


直江津地域:歴史から見るまちの構造



○ 大正時代の絵図からも、五智の歴史文化と日本海のみなと町が共存した豊かなまちであったことが分かる。

日本海名勝 直江津五智遊覧案内(大正14年)(上越市立歴史博物館所蔵) 航路と鉄路の結節点として栄えた近代の直江津の様子を描いた絵図



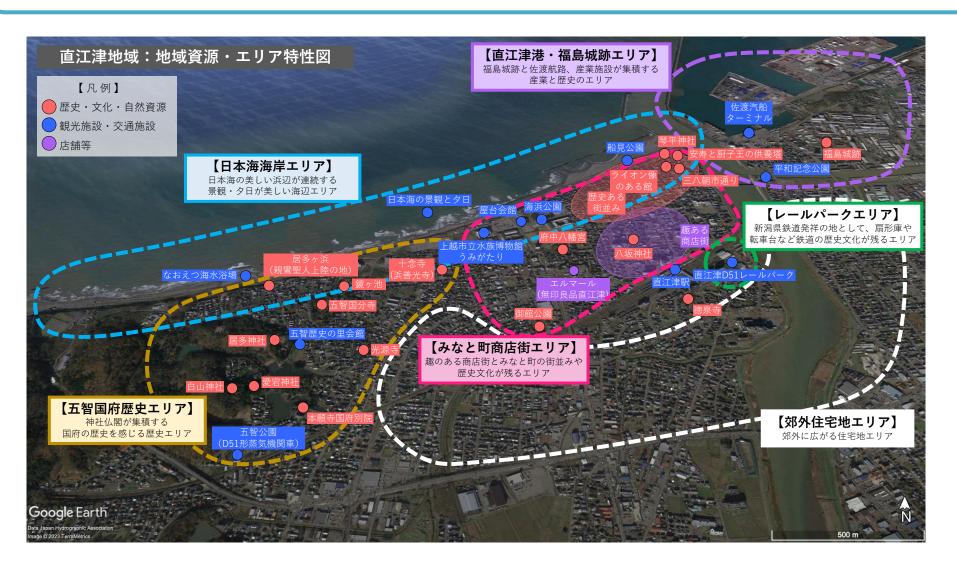
越後府中の風情薫る 歴史ある神社仏閣群

宿屋や商業物流機能などが 集積する港を支えた市街地

直江津地域:地域資源・エリア特性



- 歴史あるみなと町を中心としてエリアごとに様々な特徴を有しており、エリアに沿った活性化の方向性の検討が必要である。
- 特徴のあるエリアごとの強みをいかしながら、直江津地域全体としての魅力づくりが必要である。



直江津地域:地域ポテンシャル



- 直江津地域のポテンシャルをまとめると下記のとおりである。
- これらの資源は、直江津地域のコンセプト検討の核となる本質的要素であると考える。

●日本海の豊かな海のまち

- ・日本海の美しい風景と海岸線
- 海水浴などのマリンアクティビティ
- ・日本海に沈む美しい夕日
- ・活用可能な海岸沿いと海浜公園
- ・海の文化を伝える水族博物館うみがたり
- ・首都圏から一番近い日本海
- ・世界文化遺産登録を目指す佐渡へのアクセス



●新しい直江津の拠点の活用

- ・コロナ禍前には100万人近い入館者を 集め、直江津の新たな顔となった海を 感じる水族博物館うみがたり
- ・地域連携を掲げ、地域とさまざまな取組を行う最大級規模の無印良品直江津店
- ・鉄道発祥の歴史を今に伝え、鉄道を体験 できる直江津D51レールパーク
- ·五智公園のD51形蒸気機関車



●物流·交通の歴史みなと町の息づかい

- ・奈良時代(水門)や室町時代(直江の津) から物流交通の要衝の「みなとのまち」として名を知られていた歴史文化(三津七湊)
- ・今町として、高田藩の外港や北前船の 寄港地として繁栄し、その後も鉄道や港 などの物流・交通の要衝として発展し、その 風情を今に残す歴史文化、街並み、暮らし
- ・東西の人や文化が出会うみなと町で生まれ た義経伝説や安寿と厨子王などの物語



●浜っ子の人情と衹園祭

- ・みなと町に生きる、人情に厚く我慢強いが 大らかな、浜っ子の気質
- ・地域の誇りであり、まちが一つになる八坂 神社の衹園祭とその文化
- ・ 祇園祭の御旅所行事と屋台巡行が新潟県 無形民俗文化財に指定



●越後府中・福島城の歴史風情

- ・平安時代から越後国府が移り、越後の都 「越後府中」として政庁や巨大な神社仏閣 が立ち並んだ歴史と風情が今も残る。
- ・親鸞聖人に関連する旧跡やストーリー
- ・7年間の短い運命の福島城の歴史
- ・越後守護・上杉房定による越後府中文化の栄華



●みなと町の街並みと商い

- ・歴史的なみなと町の名残りを強く感じる、 砂丘地に広がる、商店街や土蔵、路地など の特徴的で風情ある街並み
- ・食を始め、個性的な商店が集積する商店街と商人の心意気
- ・三・八市を象徴とする、人と物が行き交う 朝市の商い
- ・北前船関連文化財が日本遺産に認定

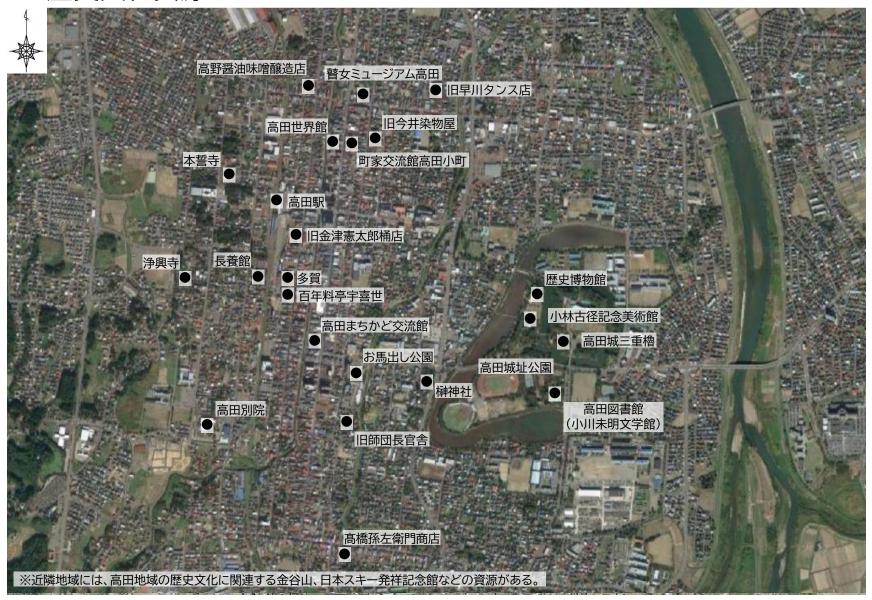


6 高田地域の現状

滞在する場所の現状(高田地域)



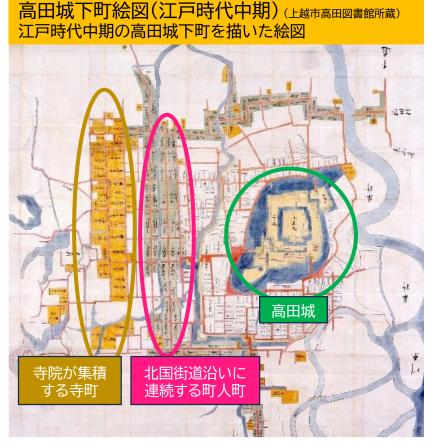
○ 主な歴史文化資源



高田地域:歴史から見るまちの構造



- 江戸時代・大正時代の絵図からも、時代は変わっても城下町の構造が基本的には変わらず、現在に継承されている ことが分かる。
- 大正時代の絵図を見ると「北日本第一桜の名所」として、高田城址のほか、市街地や寺町にも桜が植栽され、 地域全体が桜のまちとなっていることが分かる。

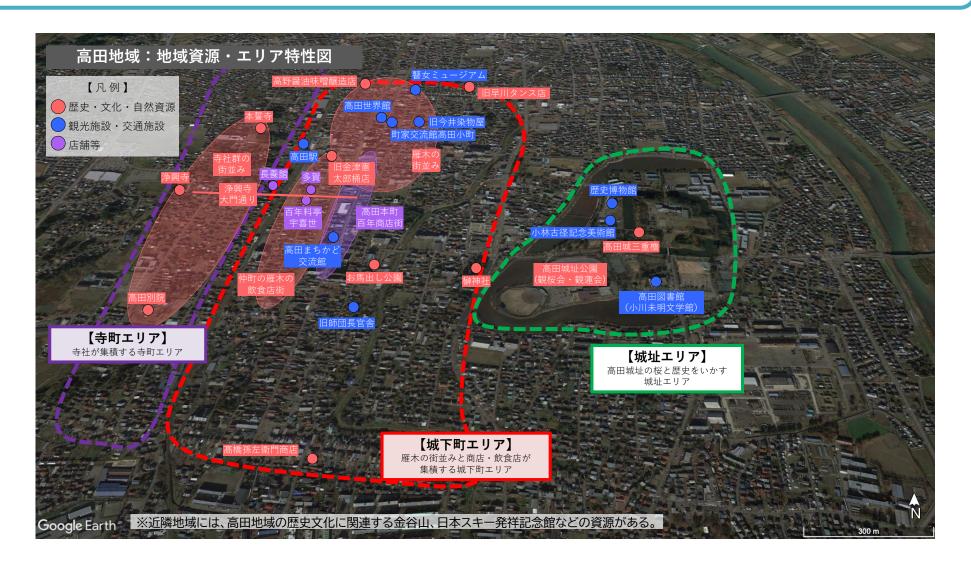




高田地域:地域資源・エリア特性



- 高田城を中心としてエリアごとに様々な特徴を有しており、エリアに沿った活性化の方向性の検討が必要である。
- 特徴のあるエリアごとの強みをいかしながら、高田地域全体としての魅力づくりが必要である。



高田地域:地域ポテンシャル



- 高田地域のポテンシャルをまとめると下記のとおりである。
- これらの資源は、高田地域のコンセプト検討の核となる本質的要素であると考える。

●400余年の歴史ある城下町

- ・天下普請で築城され、今もその面影を 残す400余年の歴史ある城下町
- ・土塁・堀が今も残る高田城址公園
- ・今も残る城下町の町割りや町家等
- ・博物館など城下町の歴史を学べる施設
- ・上越妙高駅や高速道路からの良好な アクセス



●日本三大夜桜の高田城址の桜

- ・日本三大夜桜の高田城址公園の桜と蓮の 美しい花のイベント
- ・絵図では「北日本第一の桜の名所」と称され、 全域で花が咲く城下町であった。
- ・城址公園は、創建当時の雄大な土塁と堀が 残り、歴史を知ることのできる歴史博物館 や三重櫓などがある。
- ·日本三大夜城



●全国一の雁木の街並み

- ・町家の1階から庇を張り出してその下を誰 でも通れる雁木が街道筋を中心に連続し ている。
- ・雁木の総合計は約13kmにも及び、全国一 の長さを誇っており、他にはない特徴的な 街並みと都市歩行空間を形成している。



●寺院密度日本一といわれる寺町

- ・一説には寺院密度日本一といわれる、様々 な宗派の60以上の寺院が、ほぼ全て高田 城に向かって2本の通りに計画的に集積 して並んでいる特徴的な寺町
- ・建物や宝物、庭園、花木など、それぞれの 寺院が豊かな特徴を持っており、寺町の まちづくり活動も行われている。



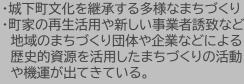
●雁木が育んだ共助の雪国文化

- ・各家が庇部分を提供し、隣家と連続して 設ける雁木の街並みは、厳しい雪国に おける心意気と、つながり・共助の文化の 象徴である。
- ・共同での雪下ろしや瞽女の文化なども 雪国の共助の文化を色濃く表している。



●商店・飲食街とまちづくり活動

- ・城下町に形成された商店街と仲町周辺の 飲食店街
- ・町家の再生活用や新しい事業者誘致など、 地域のまちづくり団体や企業などによる





7 主なまちづくりの経緯と今後の主要イベント

【春日山】主なまちづくりの経緯



昭	和平,	成	和
ハード	・上杉謙信公像設置(S44)	・春日山城史跡広場・ものがたり館オープン (H8.6)・スギ伐採 (H11~)・埋蔵文化財センター開館 (H14.10)	
ソフト	・NHK大河ドラマ「天と地と」 放送(S44)	・地域学習(土の一袋運動など)(H11〜) ・謙信KIDSスクールプロジェクト(H18〜) ・NHK大河ドラマ「天地人」放送(H21) ・地域活動支援事業(H22〜)	

「史跡春日山城跡保存管理計画」

(第1期: S55年~H21年)

史跡整備の方向

・公有地化と保存の万全の策、価値を守る

・充分な調査研究

・史跡春日山城跡の環境整備

(第2期:H21年~)

基本的な取組:遺構整備と活用への具体的な計画

継続的な調査と研究

防災計画

史跡公開への整備見直し

「謙信公・聖地(フィールド・ミュージアム)」構想

(H26年4月~30年9月)

コンセプト

「謙信公の魂に会える!聖地・春日山」

⇒6つの施策と32の事業

発行:上越観光コンベンション協会、上越商工会議所

出所:上越市魅力創造課独自調査

【直江津】主なまちづくりの経緯



平成26年度		平成30年度	令和3年度		5年度令和6年度
ハード	・新水族博物館整備・海浜公園整備・道路整備・観光案内看板整備・直江津駅前市有地利用・旧直江津銀行活用促進・中央保育園改築	・うみがたり開館 ・ライオン像のある ・直江津駅前複合力 ・直江津ショッピ	る館(H31.4)	・直江津D51レールパーク (R3. 4)	
ソフト	・まちなか水族館 ・アート修景整備(壁面作成) ・まちあるきガイドマップの 改訂増刷			・なおえつ うみまちアート	
	○都市再生整備計画 (H26~30年度) 目標:賑わいの再生、 ○中心市街地活性化プ (第1期:H26~28年度) 目標:街のにぎわいの	(第2期:H29~R元年度)	(第3期:R2~6年	<u>F度)</u> かぐる!楽しむ!直江津	→
		目柱	票:直江津の魅力を	○なおえつ うみまち万 (R3~5年度) 引き出し、賑わいを創出	•

出所:上越市魅力創造課独自調査

【高田】主なまちづくりの経緯



平成1	8年度 平成	25年度	平成	30年	令和3	年度 令和	16年度…
ハード	·町家交流館高田小町 ·寺町駐車場	・歴史博物館・オーレンプラザ・高田駅前雁木・寺町公衆トイレ		・旧師団長官舎改修 ・100年映画館周辺交流広場整備 ・高田小町駐車場	Ī	·旧今井染物屋	
ソフト	・まちなか散策促進事業・雁木整備事業補助金制度	・イレブンプラザ ・あすとぴあ高田 ・高田開府400年		・百年料亭のあるまち誘客・回遊 強化事業 ・リノベーションまちづくり事業 ・ビジネスタウン推進事業 ・まちなか居住推進事業 ・100年映画館のあるまち誘客・區 遊強化事業	<u> </u>		

○都市再生整備計画(高田雁木通り地区)

(H18~22年度)

目標:城下町高田の歴史資源を活かした"まちなか回遊観光"を契機とした地域活性化

○都市再生整備計画(高田地区(都市再構築戦略事業))

(H25~29年度)

目標:城下町高田の賑わいの再生とまちの再構築、中心拠点区域の都市機能の維持・強化

〇地域再生計画(城下町高田の歴史・ 文化をいかした「街の再生」)

〇都市再生整備計画(城下町高田地区(地方再生コンパクトシティ))

(H25~29年度)

(H30~R2年度)

目標:豊かな市民生活の享受や街なかの魅力向上等によるまちなか居住の促進、歴史・文化をいかした 回遊促進による交流人口増加

〇上越市(高田地区)中心市街地活性化基本計画

(H20~25年度)

〇中心市街地活性化プログラム

目標:街のにぎわいの向上、商店街の魅力の向上、まちなか居住の推進

(第1期:H26~28年度) (第2期:H29~R元年度)

(第3期:R2~6年度)

目標:街のにぎわいの向上

目標:つかいたいまち・高田

42

【高田・寺町】主なまちづくりの経緯



住民が策定した計画・実施した主な事業

平成	9年度 平成	以16年	平成20年度	平成30年	度 令和6	年度…
ハード		・駐車場(浄興寺裏手)	・ポケットパークの設置・公衆トイレの整備			
ソフト	・寺町まちづくり プラン策定	・浄興寺大門だより第1号 ・浄興寺大門通りまちづくりプラン策定 ・浄興寺大門通り 通り名サインボードの記 ・あかりの小径イベント ・花の小径 ・浄興寺大根炊き ・浄興寺菊祭り ・高田寺町寺院散策マップの更新	・寺町まちづくりプラン更新 ・子ども寺町探検隊マップ 设置・高田寺町寺院散策マップの 案内看板の整備		-	

浄興寺大門通りまちづくりプラン(平成17年3月)

将来像

将来像

○祈りの道としての大門通りの確立

- ・城下町高田を象徴する「祈りの道と寺町」
 - →大門通りは「西方浄土」へ向かう「祈りの道」
- ・誰もが住みたくなるまち
 - →住民にとってやすらぎと誇りの持てる道

事業計画

事業計

長期

- ・統一された景観と色調の 町並み創出
- ・全区間石畳整備と1区間から 3区間までの全幅歩道化
- ・電柱移設

維持管理

中期

- ・門前通りらしいごみステー ションの設置、街頭の整備
- ・ポケットパークの設置
- ・仮設黒板塀による修景
- ・1区間3区間交差点拡幅

短期

- ・通り名サインボードの 設置
- ・浄興寺大門だより発行
- ・あかりの小径、大根炊き 菊花展等イベント実施

寺町まちづくりプラン(平成21年2月)

○歴史とみどりが息づくやすらぎのまち・寺町

- 住みやすさを重視したまちづくり
- →だれもがいつまでも住み続けたいまち
- →住むことに誇りを持てるまち
- ・来訪者をあたたかく受け入れるまちづくり
- →もてなしの心を持ったまち
- →歴史・文化を学び、大切にするまち

長期 ・大門通り、表寺、裏寺、

本町大貫線道路整備

・雁木空間の保存整備

境内林等の緑の保全と

電柱の民地側への移設

中期 ・散策路、休憩施設の整備

- ・寺の参道空間の整備、解説板の設置
- ・ごみ集積所の改修・景観整備
- ・交差点の角切り整備

・ポケットパーク・駐車場 の新設

短期

- ・公衆トイレの新設
- ・高田寺町寺院散策マップ の更新
- ・子ども寺町探検隊マップ の作成

出所:上越市魅力創造課独自調査

今後予定されている周年記念(令和12年度まで)



